

ハレット

平成21年度の方向づけ決まる



総会

去る3月27日東海美術連盟総会が、中央公民館で開かれた。平成20年度の行事実績と決算報告等、平成21年度の行事内容の検討、予算案審議、役員改選等、慎重かつ熱心に協議された。

新任事務局長挨拶

体育会系でお役に立てるよう

本多 清子

木々の青さも深みを増して、初夏を思わせる清々しい時季となりました。芸術祭も間近となり、美術連盟の行事も順調に動きはじめました。

さて、この度の総会において、はからずも事務局長に推挙され、大切な仕事をする事になりました。大役ではありますが、何とか職責を果たしたいと思えます。

私が本会に入会したのは、17,8年前になります。その頃は働いていましたので、月1回の絵画教室で一日を過ごせることは何より仕合わせな時間でした。講師は今も会の中心になり活躍されている方々です。そこで絵画に接していることの楽しさを学びました。どちらかという言うと私は体育会系で、体を使った仕事を得意とするところです。お礼奉公のつもりもあってお引き受けしました。皆さまにご指導ご協力をいただきながら頑張る所存です。

芸術祭 はじまる

今年は出品数、作品総合数とも昨年より大幅に増加しました。個人の諸事情により、展示希望が違ってくるが、「前、後期のどちらでもよい」という会員のおかげで前、後期の作品展示がほぼ人数や作品数などが、ほぼ半々に割り振られました。

なお今年は、美術連盟を代表として芸術祭実行委員の事務局長に加藤木賢さんが就任され、各部門の連絡調整などと奮闘中です。

芸術祭の様態など文化協会のHPでご覧になれます。文化協会URLは<http://www.bunka-tokai.org/>

東海村 文化協会 でアクセスしてもOKです。

残念、日帰りスケッチ中止に

あいにくの天気のため、日帰りスケッチは中止になりました。入念に準備や下見をし、配車手配や飲み物の準備などしたのに、2週続けての雨模様で実現できなかったことは残念です。

担当の西支部の理事さんや関係者の皆さんにはお世話になりました。そして素晴らしい作品をものにしようとしていた皆さん、秋のスケッチに期待しましょう！！

ちなみに参加予定人数は4月17日が27名、24日は19名でした。）

もし描けていたら・・・ やわら
常陸大宮市 家和楽風景



どのような風景画になっていたのでしょうか？



Teaタイム 荒木敬子さんに

🍷 日本画を始めたきっかけは？

🚩 30数年前、会社勤めを続けながら、子供の頃から大好きだった絵を”本格的にやってみよう”と思いました。やぶから棒に電話した方が、院展系の日本画家 飯田雅泉先生でした。この先生との出会いが絵を描くキッカケとなりました。

🍷 絵を描く場所、時間、何か特別なこだわりはありませんか？

🚩 しいて言えば描いた絵から何らかの詩情が感じられるかと常に心がけています。これは、とてもむずかしい課題ですけど…。

🍷 今まで絵を描いていて、良かったこと。得をしたこと？

🚩 定年後、今は毎日サンデーですが、絵を通して多くの方と知り合い、交流を深める事ができました。そして写生旅行など、楽しい思い出もたくさんできました。写真を撮る主人の協力もあって、心から感謝しています。

🍷 絵以外で、興味のあること、熱中していることはありますか？

🚩 カラオケやフォークダンスなど随分と熱中した時もありましたが、今は、夫と家庭菜園に取り組んでいます。

🍷 連盟の会計を長年していただき、ありがとうございます。

🚩 私に協力できることは、金庫番ぐらいだと思い進んでやらせて頂いています。行事は各支部の担当者が責任を持って会計までして下さいますので、本当に助かっています。

🍷 これからの抱負、目標など。その他、日頃感じている事は？

🚩 先ず、健康が第一と考えて、気の向くまま、楽しくをモットーに絵筆を取れたらいいというのが、今の私の一番の願いです。



散歩の途中であまりにも美しい花に心奪われ。



アートロード展、総会終わる

来年は改修工事後の新ギャラリーで

アートロード展総会は4月26日(日)、午後1時から中央公民館で開かれた。今年度は展示店舗、事業所数が3件増えて30箇所になったこと、新たに、華道と革工芸作品の展示があったことなど新鮮味が増えたことなどが報告された。

また、来年度の計画については、ステーションギャラリーでの展示時期や内容などが、今のところ未定であることが報告された。これは、同ギャラリーが10月から改修工事を行うので、この完成を待っての展示になるため

ある。この件については、後日決定されるということであった。改修工事が完成した後の新しい会場での展示が楽しみである。



information

6/8日~6/13日	東海美術連盟芸術祭前期	東海ステーションギャラリー	【会員】
6/14日~6/20日	東海美術連盟後期	東海ステーションギャラリー	【会員】
7/5日~7/11日	アートフラッグ展	東海ステーションギャラリー	【嶋内G】
7/16日~7/28日	日泉塾日本画展	テクノ交流館リコッテイ	【赤津G】

事務局だより 会計からお願い。年会費4,000円を支部理事さんに納めてない方は至急納めて下さい。

①



これは便利!



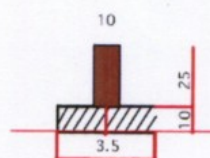
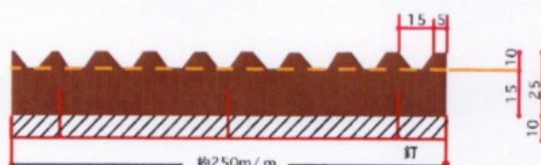
今号からシリーズで、絵の制作にあたり会員の皆さんが作ったり、使ったりしているユニークなグッズを紹介します。名画制作の参考にしてください。

筆置きの巻

作 嶋内久明さん



筆置き



夢中で描いていたら、筆立てが、ゴトンと倒れ、たっぶり絵の具がついていた筆が、ころがって床を汚してしまった、などという経験がありますね。この筆置きがあれば、そんなアクシデントは解消です。(写真上)

準備するもの

- ・木材かわらさん（瓦棧2本）うち1本は長さ25cm、巾3.5cm、厚さ1cmのもの。
別の1本は、長さ25cm、巾2.5cm、厚さ1cmのもの
- ・くぎ、長さ2.5cmのもの3本、
- ・のこぎり
- ・彫刻刀または、マイナスのドライバー
- ・金槌

作り方

1. 巾3.5cmの瓦棧は底板とする。
2. 巾2.5cmの瓦棧は、2.5cm間隔で、斜めに切り込みを入れる。
3. 切り込んだ部分に彫刻刀(または、ドライバーを)当て、切り落とす。(これは縦板とする)
4. 底板と縦板を釘で接合する。※釘の代わりに接着剤を使ってもよい。
これでできあがり。材料の適度な重みが安定感となり絵筆は、台上に整列! 気分よく創作活動に集中できます。

情報をお知らせ下さい。

「こんなグッズもありますよ」また「こんな方法もありますよ」という情報をお持ちの方は、自薦、他薦にかかわらず、編集委員にお知らせ下さい。